

### 社会の負の連鎖から生ずる“倫理観・道徳観の貧困”

知力と倫理力のアンバランスが起こす嘆かわしいトップリーダーの不祥事、普通の社会人と同じレベルで発生するようになってしまった公職にある者の犯罪・不祥事……。

“モノ・カネ”の豊かさを求めてバブルに向かった時代、そして崩壊して失われた20年は、日本人としての伝統的な“心”“誇り”“文化”を置き去りにしてしまった感があります。今こそ心の豊かさを取り戻さなければいけません。それが求められていると思います。

そうした日本にこの4月、あの世界で最も貧しい大統領と言われたウルグアイの元大統領ホセ・ムヒカさんが来日し、「富に縛られず、どうすれば幸せになれるか考えよう」と若者たちと対話し、感動と忠告を残していかれました。

5月27日にはオバマ大統領が広島を訪問し、歴史的な心に響く演説をされていかれました。その演説には倫理・道徳を意味する“moral”の言葉が3回使われていました。



このような歴史的な印象があって、日本人に忘れられた感のある倫理・道徳という概念をもって訴えたとすれば、今しかないという思いを込めて6月定例会で「磐田の教育」について一般質問をし訴えましたのでご報告いたします。

市長・教育長のご答弁は、こうした“思い”を受け止めていただいたかとするもので、今後の教育行政に期待をしたいと思います。一般質問で訴えたかった思いの概要は次ページ通りです。

6月定例会一般質問 **“教育新時代に向かう「磐田の教育」の新興について”**の全文はHPの“新着情報”に掲載しました。(当局答弁は議会だより9月1日号に掲載されるため割愛) 私のHPにつきましては、**網村** または **網村かずひろ** で検索していただきますと出てきます。

## 6月一般質問（6/21）にて訴えたかったこと

私の一般質問通告書の書き方の未熟さがあって、再質問が繋がらず、中途半端なカタチで終了となってしまいましたが、頭の中で描いていたまとめ方向は下記の通りでありました。

### 社会環境の悪化・倫理観の欠如からの諸問題

大人の世界では深刻だが 教育現場では？



- ・ 地域・家庭の教育力低下を 学校義務教育期間で補ってほしい
- ・ “不登校問題” は教育弱者問題と捉え もっと注力すべき事項  
加えて、あまり表面に出ていない “ひきこもり者多数” という社会の負の実態を注視 この両者は共通問題として繋がっている。

**小学年次中心に 不登校予防施策こそ大事 将来のひきこもり者減少に繋がる**

**磐田市教育支援センター（あすなる）の位置づけをもっと高く！**

**復帰者多数の成功体験 広く理解を深める**

**あすなる（翌檜）の成功体験活動は**

**「生きる力」を引き出す原点として好事例**

うれしい、わくわく、感謝、感動の陽気な活動が、心のスイッチをオンにし、「やればできる！」の体験が、前向きな生きる力に結びつくことは、遺伝子活性化の科学的論拠とつながっている。  
年少時の教育活動（学習指導要領に言う特別活動等）に生かす。



豊田町井通交流センター前  
「磐田市教育支援センター」



**「磐田の教育」道しるべ・磐田市教育大綱・学府一体校整備構想に沿う**

### 今後の磐田市の教育の新興方向提起

- ・ 自然体験等様々な体験活動の組み入れ  
**屋外活動施設の充実施策**

例・旧豊岡東小学校を「野外活動センター」に  
・ 兎山公園を「磐田版 森のようちえん」に



浜松市は平成28年4月、2年間閉鎖していた市有キャンプ場を「龍山秘密村」として開村した

- ・ 心の教育・徳育を子どもたちにどう浸透させるか その施策は？  
**学習指導要領に言う “生きる力” という理念” の共有**

**磐田市が9年間かけて実施したいとする “磐田人づくり” の見える化**

静岡県は ふじのくに「有徳の人」づくり

磐田市は ？

大綱はつくった が ではどういう人づくりの教育をやるのか 明示を。

“英語” が教科に入った、次は “道徳” “コンピュータープログラミング” が入ってくる。現場は益々大変なるも、「徳育」を重視し “知” “徳” “体” のバランスを求めての人づくりに期待する。教育現場の多忙克服は、NPO等 **地域・社会の力の連携活用** にあろう。